



いたばし 板橋ふれあい農園会給食だより

「板橋ふれあい農園会」とは、板橋区で農産物を作っている区内の農家の方の会です。
学校に新鮮で安全な野菜などを届けてくださいます。

今回お届けする「長ねぎ」は山口賢治さん、染宮利章さん、石井規弘さん、木村繁夫さん、
田中將浩さんを中心にご作っていただきました。

長ねぎの作り方について、山口賢治さんに聞きました！

1 種まき（3月上旬）

土の上に穴があいたシートを敷き、1つの穴につき8粒の種をまきます。成長すると苗になります。

2 苗植え（4か月後の7月上旬）

小指程度の太さ、40～50cm ぐらいまで育った苗を 畑 に4cm間隔で植えます。

山口さんは今年約400本の苗を植えました。

3 土よせ（9月から12月まで）

長ねぎの成長に合わせて、土をかけます。

この作業を「土よせ」といいます。

収穫までに、3週間ごとに4回行います。

土をかけた日の当たらない部分が長ねぎの白い部分になります。

長ねぎがのびた部分。
この上の部分まで
土をかけます。



12月2日の畑の様子
だっちい♪



板橋区食育キャラクター
「いたばちい」



4 収穫（1月）

くわで、長ねぎの周りの土を取り除いてから収穫します。

学校に届ける前に、長ねぎを一皮むいてきれいにします。

今年は苗を植えた後に大雨が降りました。畑に雨水がたまり、一部の苗が浮いてしまって植え直したこともありました。
おいしく食べてほしいです。



山口賢治さん